

取扱説明書

モトローラ スタンド オフロードバイク用 足踏み式

注文コード：10425924

このたびは、スタンド オフロードバイク用 足踏み式をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

注意 この表示内容を見逃して誤った使い方を場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の保障、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

警告

- 本製品は、自動車整備士、二輪自動車整備士、または整備に関する一般的な知識をお持ちの方を対象としています。修理技術者でない方は、本書に記載されていない、本製品の分解、修理、改造は絶対に行わないでください。
- 耐荷重を超えての使用は絶対に行わないでください。
- 本製品は、軽量の二輪車をリフトアップすることを目的に作られています。他の用途は想定しておりません。踏台や作業台として使用するなど、使用目的以外での使用は絶対に行わないでください。事故やケガの原因になります。
- 本製品を使った作業は危険が伴います。安全な作業場所を確保し、作業工程を熟知した上で作業をしてください。
- 作業場所は常に整理整頓し、作業上障害となるような物は置かないでください。
- 作業場所に、作業者以外近づけないでください。特にお子様は危険な行動をとることがあるので、近づけないよう十分注意してください。
- 本製品は、固く平らで傾斜のない床面で使用してください。不安定な床面では絶対に使用しないでください。守らないと、事故やケガの原因になります。
- ハンドル操作が正しくできるように、作業場所を確保してください。
- 本製品は以下の場所で使用しないでください。
 - 一屋外（雨天の屋外は特に危険です）
 - 一湿った場所、濡れた場所、水中
 - 一直射日光下
 - 一周辺温度が 40℃以上になるような高温の場所
 - 一火気のある場所
 - 一可燃性の液体やガスのある場所
- 作業中は必ず換気をし、作業場の換気をよくしてください。
- 作業に適した服を着用してください。だぶだぶの衣服、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。巻込まれたり引掛かったりして、ケガをするおそれがあります。
- 安全のため安全ゴーグル、安全帽、安全手袋、防塵マスク、耳栓などを着用してください。
- 長髪の方は、髪が巻込まれないよう十分注意してください。
- 作業開始前に、各部に亀裂や変形、ボルトナットの緩みなどの異常がないことを必ず確認してください。
- 本製品はていねいに扱ってください。落としたり倒したりぶつけたりして、強い衝撃を与えた場合は、各部に異常がないか必ず確認してください。異常や損傷が見つかった場合は、必ず弊社に修理を依頼してください。絶対にご自分で分解修理を行わないでください。事故やケガの原因になります。
- タイヤの取外しなどの整備作業については、必ず車輻に付属の整備書を確認してください。
- 使用中に少しでも異常を感じたら、速やかに作業を中止してください。

2 仕様

耐荷重 (kg)	160
本体寸法 (mm)	295 × 310 × 270
天板寸法 (mm)	295 × 235
最高位 (mm)	390
最低位 (mm)	270

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

3 各部の名称



4 組立て

■ 使用部品

① ハンドルバー	② シャフト止めピン	③ ワッシャー
④ フレーム	⑤ ベース	

※ 組立ては、障害物のない広い場所で行ってください。

※ 部品が不足していないか、損傷や破損などがないかあらかじめ確認してください。不足、損傷、破損などがある場合は、作業を中止して弊社までご連絡ください。

※ 組立ては、必ず以下の手順に従ってください。間違いがあると、正常に作動しないことがあります。

※ 作業中に異常を感じたら、速やかに作業を中止してください。

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

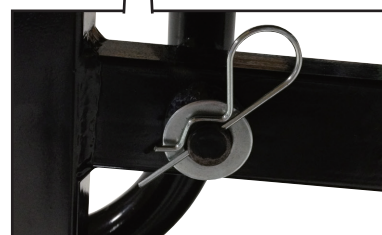
1. ベース（⑤）に、ハンドルバー（①）を差込みます。



2. ベース（⑤）に、フレーム（④）を差込みます。



3. 取付穴に差込んだシャフトの裏側にワッシャー（③）をはめ、シャフト止めピン（②）で固定します。



4. 組上がったら、何も載せない状態でハンドルバー（①）を踏んで、正常に作動するか確認してください。



5 使い方

■準備～使用条件の確認

以下の車輻には使用できません。該当しないことを確認してください。

- 底部にアンダーガードが付いている
- 底部のフレームが平行でない
- エンジンやパーツがフレームから飛出している
- フレームの幅が、本製品の天板より大きい
- 車輻の最低位が 310mm 未満
- 重量が 160kg 超（本製品の耐荷重は 160kg です）
- オイルやガソリン、バッテリー液などが流れ出ている

■ リフトアップ



警告

- 作業はコンクリートなどの固く平らな場所で行ってください。柔らかい場所、傾斜や凹凸がある場所で使用すると、リフトアップした車輦が落下するおそれがあり、危険です。
- 作業開始前に、各部に亀裂、変形、傷、損傷、さび、ボルトナットの緩みなどがないか、正常に作動するかよく確認してください。
- リフトアップ、リフトダウンは、必ず2人で行ってください。一人での作業では、車輦が倒れて事故やケガの原因になります。
- リフトアップ、リフトダウンは、エンジンを停止させた状態で行ってください。守らないと、車輦が倒れて事故やケガの原因になります。
- 可動部および摺動部がグリスアップされているか確認してください。

1. 車輦の下部が汚れている場合は、汚れを落とします。

※ 汚れがあると、車輦が天板から滑り落ちるおそれがあります。

2. 【使用者】【補助者】車輦を2人で垂直に保持します。

3. 【補助者】スタンドを車輦の真横から差込み、位置を合わせます。

※ リフトアップの際に車輦のバランスが崩れると車輦が転倒します。バランスが取れるよう、スタンドを置く位置は慎重に決めてください。

4. 【使用者】スタンドのハンドルバー側に立ち、車輦のハンドルとシートレールをしっかり握って保持します。

5. 【使用者】ハンドルバーを足で踏み、車輦をリフトアップします。

※ 天板と車輦の間には、何も物をはさまないようにしてください。

※ ハンドルは、しっかり最後まで踏込んでください。

※ 可動部や摺動部に、手や指をはさまないよう注意してください。

6. 車輦が安定していることを確認し、タイヤ交換などの作業を行ってください。

※ 必ず車輦がぐらついたり不安定でないことを確認してください。確認を怠ると、車輦が倒れて事故やケガの原因になります。

※ リフトアップ中は、絶対に以下を厳守してください。守らないと、車輦が倒れて事故やケガの原因になります。

— 車輦に強い振動を与えない

— 車輦に乗らない

— 車輦のエンジンをかけない

※ 本製品はメンテナンス用のスタンドです。保管用ではないため、車輦をリフトアップした状態で放置しないでください。作業が終わったら速やかにリフトダウンしてください。

■ リフトダウン

7. 【使用者】スタンドのハンドルバー側に立ち、車輦のハンドルとシートレールをしっかり握って保持します。

8. 【使用者】ハンドルバーの下に足を入れ、ハンドルバーを上げます。

※ ハンドルバーを上げると車輦の重量で一気に下降します。必ず車輦をしっかり支えてからハンドルバーを上げてください。守らないと、事故やケガのおそれがあります。

6 メンテナンス

以下を定期的に行ってください。

- 各部の点検。傷や変形、亀裂などの異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
- 可動部やしゅう動部へのグリス塗布。本体を水洗いしたときは、よく乾かしてから塗布してください。

7 保管

使用後は、以下の場所を避け、施錠できる所に保管してください。

- 子供や幼児の手の届く場所
- 高温多湿の場所
- ホコリの発生する場所
- 振動する場所